

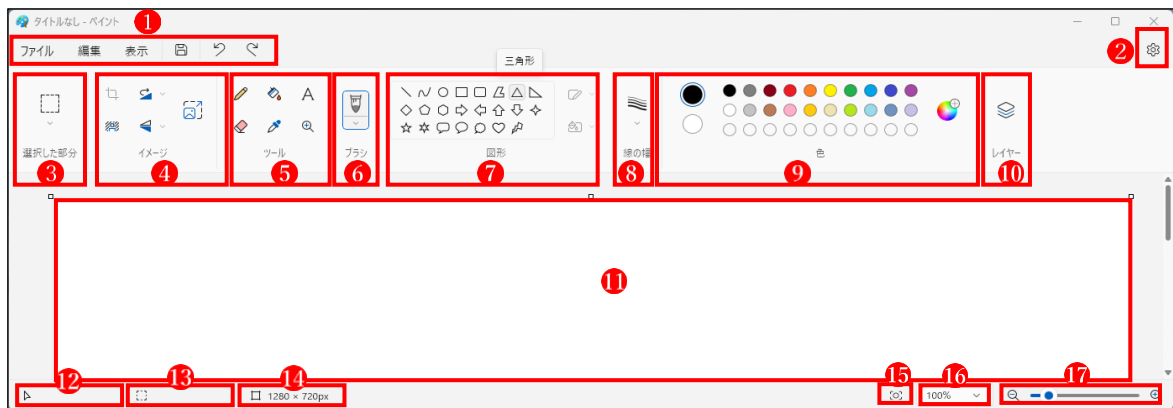
## 新ペイントでポスターを作成する

Windows11 に搭載されている「ペイント」アプリに、「背景の削除」や「レイヤー機能」が追加され、以前より大幅に使い勝手が向上しました。そこで、ここでは追加された新機能も含めてあらためてペイントアプリの便利な使い方を学習しましょう。

### 1 新ペイントの画面構成

新ペイントの画面構成は、新しい機能が追加されたこともあり、従来のものからかなり変更されています。

#### <各部の名称と機能>



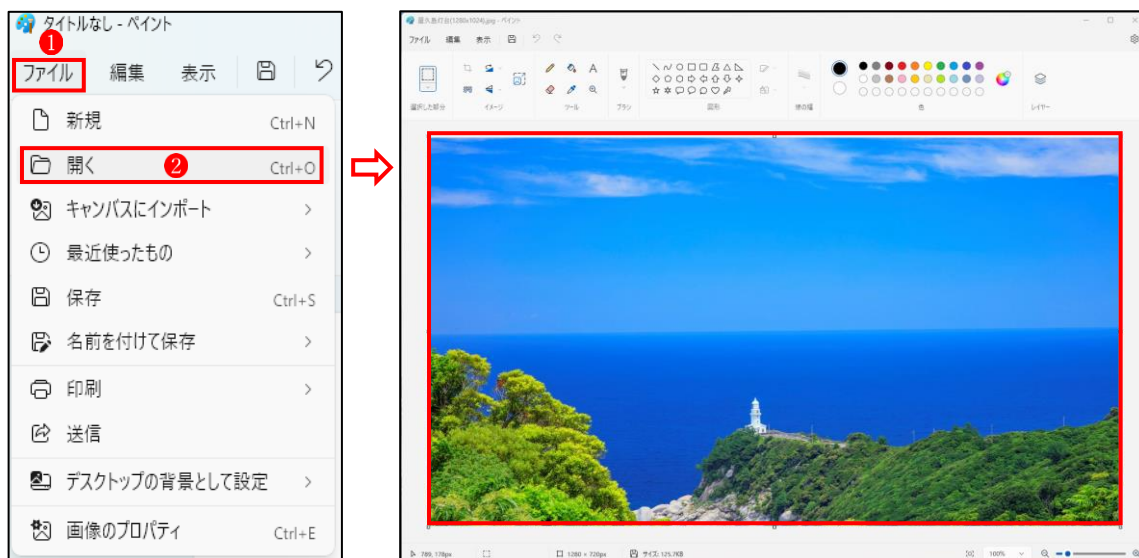
- ① メニュータブとクイックアクセスツールバー
- ② 設定 画面モード（ライト・ダーク・システム設定）を選択できます。
- ③ 選択した部分 画面の一部や透明部分を選択するためのツールです。
- ④ イメージ 画像の編集に使用できるツールが5つ用意されています。
- ⑤ ツール テキスト作成や塗りつぶし、消しゴムなどのツールが用意されています。
- ⑥ ブラシ 9種類のブラシが用意されています。
- ⑦ 図形 23種類の図形が作成できます。
- ⑧ 線の幅 4種類の線の幅が用意されています。
- ⑨ 色 あらかじめ用意されている色から選択でき、自分の好きな色を作成することもできます。
- ⑩ レイヤー レイヤーの追加、レイヤーの統合などのレイヤー機能が使えます。
- ⑪ キャンバス 画像の編集をしたり、図形や絵を描画する場所です。
- ⑫ 座標表示 マウスポインターのある位置を表示します。
- ⑬ 選択範囲 選択ツールで選択している範囲を表示します。
- ⑭ キャンバスサイズ キャンバスのサイズを表示します。
- ⑮ ウィンドウに合わせる キャンバスをウィンドウに合わせて拡大・縮小します。
- ⑯ キャンバスのサイズを数値で拡大・縮小します。
- ⑰ キャンバスのサイズをスライダーをドラッグして拡大・縮小します。

## 1 画像を読み込んでサイズを変更する

### (1) ペイントに画像を読み込む

ペイントに画像を取り読み込む方法は3通りあります。

- ① 「ファイル」タブ①から「開く」②をクリックし、画像ファイルが保存されているフォルダーからファイルを指定して（ここでは、「屋久島灯台(2560×1440).jpg」の画像）読み込みます。この場合は、キャンバスのサイズは読み込んだ画像のサイズになります。



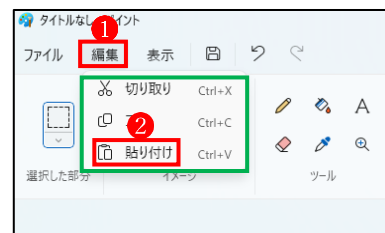
「開く」から画像を読み込んだ場合は、ペイントで画像を編集してから「保存」すると、元の画像が編集された状態で上書き保存されるので、元の画像を残したい場合は、「名前を付けて保存」します。

- ② 元の画像を変更したくない場合は、「ファイル」タブ①から「キャンバスにインポート」②をクリックし、ファイルが保存されているフォルダーからファイルを指定して読み込みます。

この場合は、ペイントで画像を編集した後は「名前を付けて保存」します。



- ③ 「Print Screen」や「Snipping Tool」を使って、画面やその一部をコピーしてから、ペイントのキャンバス上で一度クリックし、「編集」タブ①の「貼り付け」②をクリックすると、キャンバス内にコピーした画像を貼り付けることができます。



## (2) 画像のサイズ変更

ペイントに取り込んだ画像のサイズを変更するには、「イメージ」グループの「サイズ変更と傾斜」<sup>①</sup>から行います。

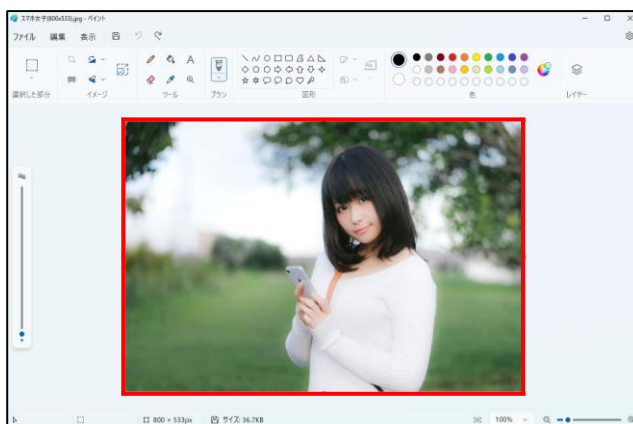
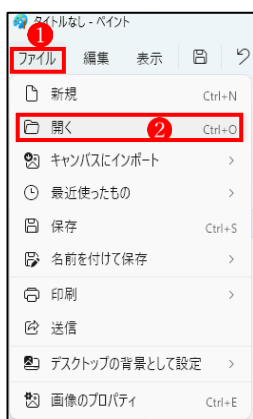
- ① サイズ変更の「単位」<sup>②</sup>を選択します。  
ここでは「%」を選択しました。
- ② 「縦横比を維持する」<sup>③</sup>を「オン」にしておきます。
- ③ 「水平」の数値を変更（ここでは50%）し<sup>④</sup>、「OK」<sup>⑥</sup>をクリックします。  
※「垂直」<sup>⑤</sup>は自動的に「水平」と同じ数値に変化します。
- ④ 画像のサイズが50%の大きさ（ここでは1280×720px）に縮小されます。  
ここでは、縮小した画像を「屋久島灯台(1280×720).jpg」という名前で保存します。



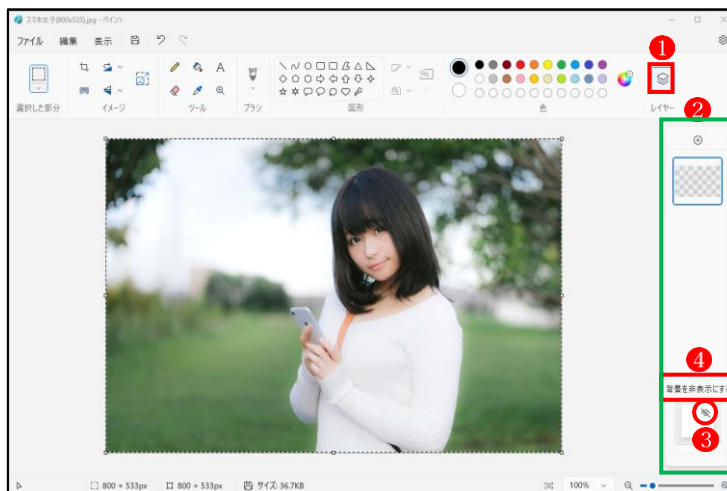
## 2 画像を読み込んで背景を削除し画像をトリミングする


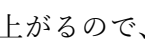

### (1) 画像を読み込み、背景を削除する


- ① 「ファイル」タブ<sup>①</sup>から「開く」<sup>②</sup>をクリックし、画像ファイルが保存されているフォルダーからファイルを指定して（ここでは、「スマホ女子(800×533).jpg」の画像）読み込みます。



- ② 「レイヤー」グループの「レイヤー」ボタン<sup>①</sup>をクリックすると、ウィンドウの右側にレイヤー用のペイン<sup>②</sup>が現れます。

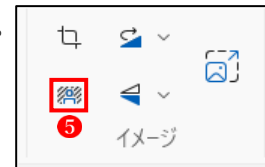



- ③ 下部に「背景」というサムネイルが表示されていて、マウスポインターを近づけると  ③ のマークが現れ、その上部に「背景を非表示にする」という文字  ④ が浮かび上がるので、この状態で  ③ のマークをクリックします。

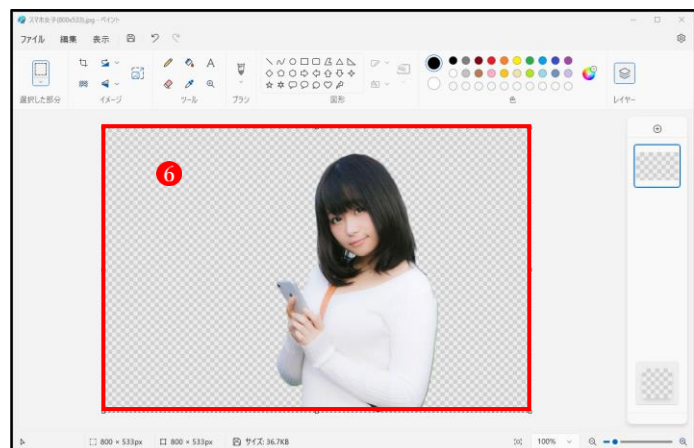
※クリック後、 のマークは、右図のように変化します。





- ④ 「イメージ」グループの「背景の削除」ボタン  ⑤ をクリックします。

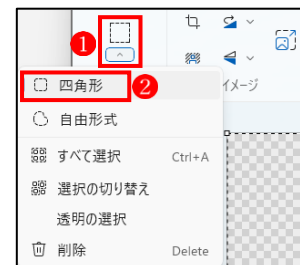


- ⑤ 画像をクリックします。  
背景が削除されて、市松模様で表示されています  ⑥。




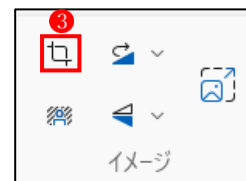
(2) 人物をトリミングし、.png 形式の画像として保存する


- ① 「イメージ」グループの「選択した部分」  ① をクリックし、選択枝の中から「四角形」  ② を選んでクリックします。



- ② 人物の周りを四角形に選択します。

- ③ 「イメージ」グループの「トリミングする」  ③ をクリックします。



- ④ 画像がトリミングされます  ④。



- ⑤ 「ファイル」タブの「名前を付けて保存」から、画像を「PNG 画像」形式で保存します。

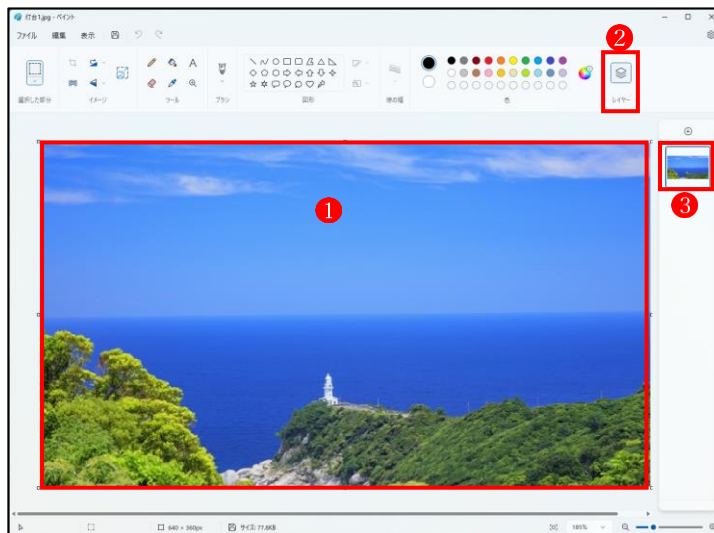
ここでは、「スマホ女子切り抜き.png」という名前で保存します。

### 3 レイヤー機能を活用してポスター画像を作成する

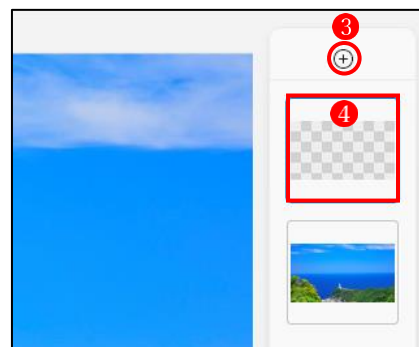
レイヤーとは複数の透明な紙を重ねて描く事ができるようなイメージです。レイヤーを分けることで、各レイヤーに影響を与えずに絵を描くことができます。また、「背景の削除」を併用することによりかんたんに画像合成をすることができます。

#### (1) レイヤーを追加する

- ① 「ファイル」タブの「キャンバスにインポート」から1枚の画像（ここでは、「屋久島灯台(1280×720).jpg」）を読み込みます①。
- ② 「レイヤー」②をクリックします。→「レイヤー1」③が表示されます。

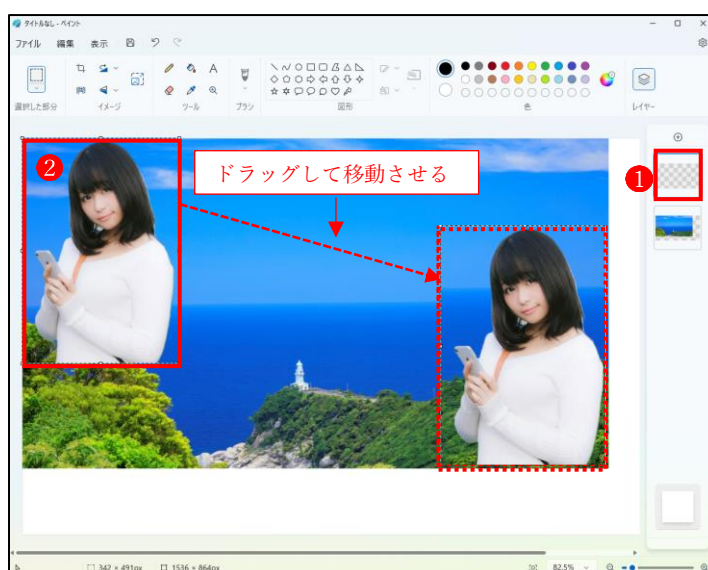


- ② 「+」ボタン④をクリックします。「レイヤー1」の上に「レイヤー2」⑤が追加されます。



#### (2) 追加したレイヤーに別の画像をインポートする

- ① 「レイヤー2」①をクリックして選択し、ここに別の画像（ここでは「スマホ女性切り抜き.png」の画像）を「キャンバスにインポート」します②。
- ② 右下隅にドラッグして移動させます。  
※必要に応じて、「イメージ」グループの各種ツールを使って、画像のサイズを変えたり、角度を傾けたり、左右反転させたりします。



#### 4 テキストツールを使って文字を追加する

最初に、テキストを入力するための新たなレイヤーを追加しておきましょう。

レイヤーの「+」ボタン①をクリックして「レイヤー3」②を追加します。

##### (1) 文字の入力



- ① 「ツール」グループの「A (テキスト)」①を選択し、キャンバス上で四角形状にドラッグすると②、上図のようにテキストツール③が起動し、文字が入力できるようになります。
- ② 文字の入力を始める前に、テキストツールで、文字のフォント、フォントサイズを設定します。ここでは、フォントを「HGP 創英角ポップ体」、フォントサイズを36ポイントに設定します。
- ③ 「色」グループの「色1」④に文字色を設定します。  
ここでは、文字色を「白」に設定します。
- ④ 文字を入力します⑤。

##### (2) 文字の編集

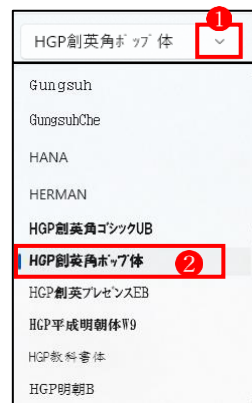
ペイントで入力した文字は、テキストボックスで囲まれている間だけ編集できます。

テキストボックス以外のところをクリックすると、テキストボックスが消えてしまい、続けて編集を行うことができなくなりますので、注意が必要です。もし、誤ってテキストボックスを削除してしまった場合には、画面左上の『戻る』ボタンをクリックして、もう一度文字を入力するところからやり直します。

① フォントの変更

ペイントで入力した文字を編集するには、まず編集したい箇所を選択します。

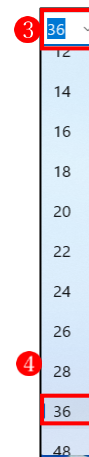
フォントの変更は、下図の「▼」①をクリックします。この中から好きなフォント②を選びます。



② フォントサイズの変更

ペイントで入力した文字を編集するには、まず編集したい箇所を選択します。フォントサイズ(文字の大きさ)の変更は、右図の「▼」③をクリックして、この中から好きなサイズ(ここでは[36]④)を選びます。

※キーボードから数字を直接入力すると、選択肢にはない数字に変更して、大きさを設定することも可能です。



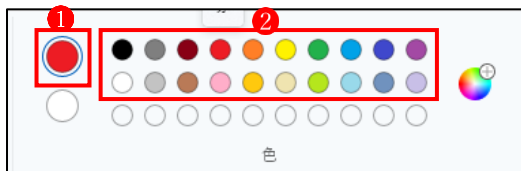
③ 文字色の変更 (文字の色は「色1 (前景色)」で設定します。)

ペイントで入力した文字を編集するには、まず編集したい箇所を選択します。

まず、「色1」①をクリックします。

次に、右側の色の種類②から好きな色を選んでクリックします。

(※ここでは「白」のままにします。)



テキストボックス内をクリックするとフォントの色の変更が反映されます。

※色を選択しただけでは実際の文字に色の変更が反映されません。

④ 背景の透明/不透明 (※ここでは設定しません。)

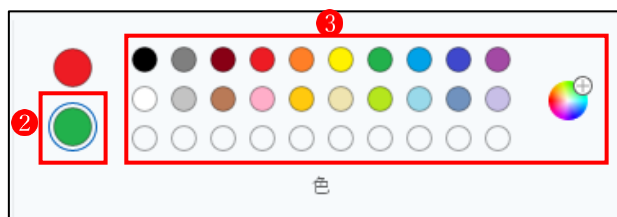
ペイントで背景を「不透明」(※「透明の選択」にチェックを入れない。)①にします。

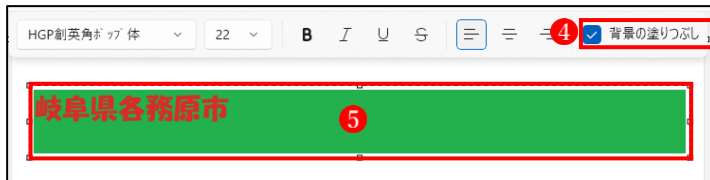
次に「色2」②をクリックし、右側の色の種類③から好きな色を選んでクリックします。

最後にテキストツールバーの「背景の塗りつぶし」④をクリックします。

例えば、こんな感じです。

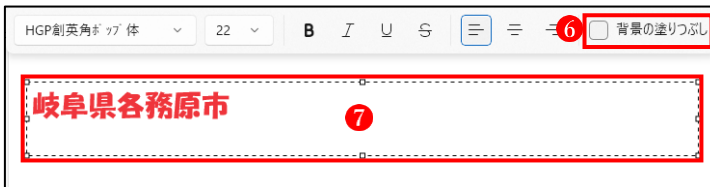
背景：不透明 色1：赤 色2：緑





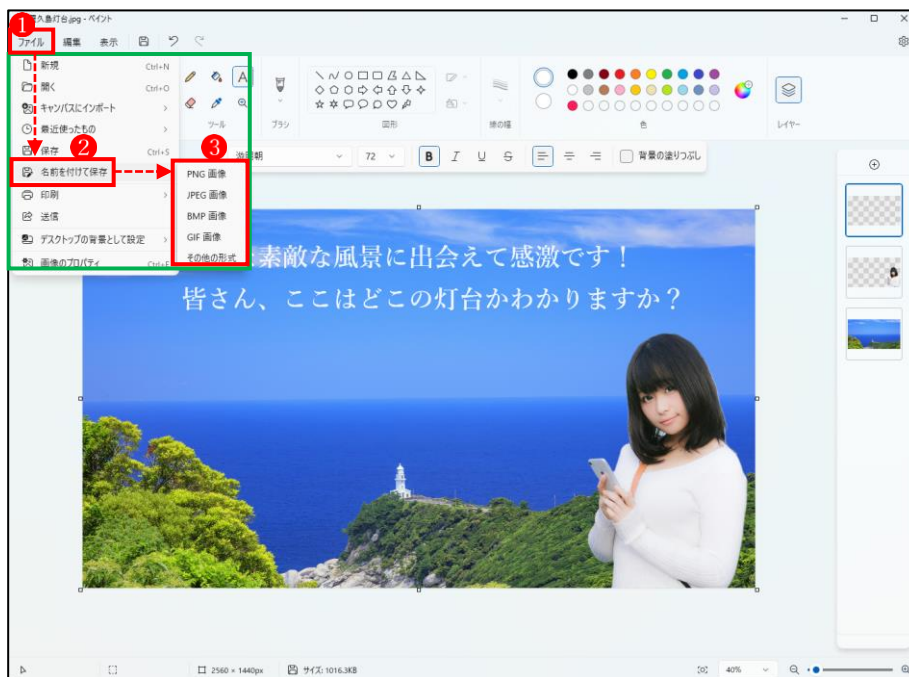
テキストボックス内の背景が塗りつぶされます⑤。

- ★ 背景を元の色に戻すには、「背景の塗りつぶし」⑥のチェックを外します。背景が元の色に戻ります⑦。



## 5 名前を付けて保存

編集がすべて終わったら、「ファイル」①→「名前を付けて保存」②から、好きな画像ファイル形式（PNG 画像、JPEG 画像など）③で保存します。



- ★ ペイントには、上で解説した機能のほかにも、「ブラシ」ツールや「図形」ツールがあり、自筆の文字を書いたり、各種の図形を描いて画像に追加することなどもできるので、是非トライしてみてください。

## 最後に（重要）

ペイントで編集した画像は、最終的に PNG や JPEG の平面的な画像としてしか保存できないので、後でこのファイルを読み込んで再編集することができません。したがって、ペイントを使用する目的としては、本格的なペイントアプリとしてではなく、豊富なツールを便利な道具として使う（例：写真のサイズの縮小、切り抜き、背景の削除など）のに適しています。